

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年 7月 31日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県大津市松本一丁目2-20滋賀県農業
教育情報センター4F
氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
公益財団法人滋賀県スポーツ協会
会長 河本 英典
第25条第3項・第25条第4項
第27条第1項・第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第4項の規定に基づき、事業者行動計画を策定(変更)したもので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	公益財団法人滋賀県スポーツ協会 会長 河本 英典
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県大津市松本町1丁目2-20 滋賀県農業教育情報センター4F

1 事業所の概要

事業所の名称	滋賀県立アイスアリーナ					
事業所の所在地	滋賀県大津市瀬田大江町17-3					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	8	0	4	1	※ 産業分類・細分類名称を記載 スポーツ施設提供業(別掲を除く)
事業の概要	公共社会体育施設の管理運営					
従業員の数	15	人	作業時間	13	時間/日	
該当する事業者 の要件	☐ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☒ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	3	台	熱源設備	17	台
	コンプレッサ		台	空気調和設備	5	台
				照明設備	750	台
				その他	冷凍機3台	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	2024	年度	報告対象年度	年度
	終了 年度	2025	年度		

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

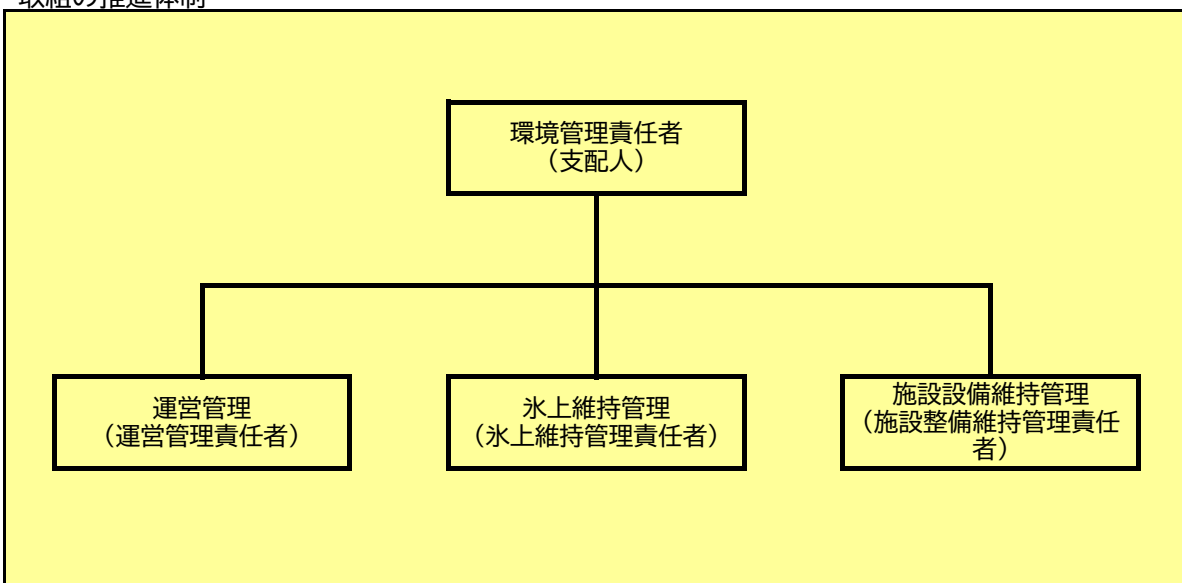
1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

スポーツを通じて県民に夢と感動を与え、県民のスポーツ活動を推進する団体として環境への取り組みを高い意識をもって進めるとともに、法令の遵守や汚染の未然防止はもとより環境保全活動を定期的に見直し継続的改善に努め、今後も社会環境への影響を考慮して取り組んでいきます。

行動指針

1. 電気・ガソリン等の適正使用を徹底し省資源・省エネルギーに努めます。
2. 廃棄物の削減とリサイクルの推進によりごみの減量化に努めます。
3. 事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。
4. グリーン購入の拡大を推進します。
5. 全職員等が方針の周知と意識向上を図ることはもとより、環境負荷の低減あるいは行事参加者や来館者に環境活動の啓発に努めます。

2 取組の推進体制

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

環境活動推進に向けた体制の構築

- ・エコアクション21への取り組み(平成18年～令和2年)

- ・環境推進委員の選定

施設内設備について

- ・電力使用量の削減(冷暖房の適正な温度設定、空調機のフィルター掃除、照明器具に人感センサーの設置)

- ・ガス使用量の削減

その他の取り組み

- ・コピー機使用において、コピーカウントの減少、両面印刷の促進等

- ・グリーン購入において、エコマーク商品カタログより物品を調達

- ・廃棄物の分別により再資源化を推進し、ごみの量の減量化を目指す

- ・節水することで地球資源の水を大切に、総排水量を削減

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	職員間で節電の意識を共有し、利用のない時間帯は電気の使用は控える。	令和6～令和8年度	
2	ポイント改善	設備の計画的な停止による省エネ	令和6～令和8年度	
3	運用改善	6月～10月の期間においては、クールビズを推奨し、冷暖房機器の適正温度の励行に取り組む	令和6～令和8年度	
4	設備導入	施設内照明のLED化	令和6～令和8年度	
5	運用改善	令和2から5年度までの中間期は外気の取り込みによる館内冷房	令和6～令和8年度	

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1		該当なし		
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
平成31年度を基準値とし、職員個々の取り組みと利用者の呼びかけで 二酸化炭素排出量(t-CO ₂)を毎年0.5%削減を目標とする。	

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2024)年度	(2025)年度	(2026)年度	(2027)年度	(2028)年度
原油換算エネルギー使用量	kL	312					
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	445					
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	445					
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移							

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施 スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂						
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂						
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh						
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

		計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
			(2024)年度	(2025)年度	(2026)年度	(2027)年度	(2028)年度
保有車輛の数	台	2					
上記のうち 次世代自動車等の 数	台	0					
特記事項							

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	グリーン購入	事務用品の購入においては、グリーンマーク表示品を優先的に購入する	令和6～令和7年度	
2	3R	廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する。(廃品回収の協力や、回収業者に持ち込む)	令和6～令和7年度	
3	その他	近隣地域の美化活動への積極的な参加	令和6～令和7年度	
4				
5				